

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>重点目標の学力向上については、全教員による教科ごとの授業参観や校内研修にて取り組み目標を達成することができた。心の教育については、日々の教育活動の成果が生徒の行動面などでよい結果として現れている。また、「いじめ対応」の研修を行い、教職員の意識の向上を図り、いじめの未然防止に努めることができた。健康・体力づくりでは、不登校に関する定期的な会議を行い、生徒の情報共有・支援を継続的に全職員で対応することができた。</p> <p>授業力の向上に関しては、校内研究や職員個人のマイプランに基づき、授業改善をすすめているが、まだ納得のいく成果が現れていない。今後もICTの活用などを含めた指導法の研究が必要である。</p> <p>いじめの対応については、職員の研修や実践を重ねているが、生徒の肯定的な回答が8割を超えた。また、教育相談の面でも肯定的な回答は8割を超えたが、外部講師の招へいによる研修など今後の更なる取組が必要である。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	<p>自他の「いのち」を尊び、自立し貢献できる生徒の育成</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>1 学力の向上 2 生徒指導の充実 3 人権意識の高揚 4 働き方改革の推進</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●全職員による共通理解と共通実践 ○基礎学力の向上のための授業づくりの実践 ○補充学習と放課後レベルアップ学習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●学力向上対策評価シートに示した成果指標を達成した教師70%以上。 ○定期テストで基礎的な内容の正答率が80%に達した生徒の割合が70%以上。 ○「意欲をもって補充学習に取り組むことができた」生徒の割合が70%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修で学力向上対策評価シートや各教科の取組を共有するとともに、学力向上に向けた取組の促進を図る。 ・校内研修を通して、指導方法や評価の在り方について研究実践を行う。 ・電子黒板やタブレット端末などのICTを積極的に活用した授業改善に取り組む。 			
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ●生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒75%以上。 ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等)のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上。 ○生徒が「先生は自分の良いところを認めてくれる」と肯定的に回答する割合が70%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ITによる道徳授業を組むことで、生徒のささやきをひろい、思考を深める。 ・学校行事や地域行事等への積極的な参加を促す。 ・いじめの防止、対応についての研修を年間2回以上行う。 ・覚知時には対策委員会を立ち上げ、保護者と連携しながら解決に努める。 ・生徒の情報共有し、全職員で生徒理解を図る。また、校内研修を中心に、教師だけでなく、生徒同士も認め合うような授業作りを実践する。 							
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ○教育相談の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒85%以上。 ○朝食を食べる割合90%以上。 ○「学校生活が楽しい」と回答した生徒の割合が70%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動等を活用して食への関心を高める。 ・各学級一回は学活の時間に食育指導を行う。 ・気になる生徒の把握をする会議を定期的に行う。また、SCやSSWの活用などを含め小中合同の教育相談部会を定期的に行う。 							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日の設定。 ・部活動ガイドラインに則った部活動休養日の設定と確実な実施。 ・会議のペーパーレス化など会議や事務の効率化を図る。 							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ◎キャリア・パスポートによる自己成長のための見通しと振り返りにより、生徒の志を高める教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◎キャリア・プランニングを作成することができ、自分の将来について肯定的な考えを持つことができた回答した生徒の割合が70%以上(4段階評価による数値評価)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア・プランの作成とキャリア・パスポートの記入による、見通し立てと振り返り活動を行う。 ・キャリア・パスポートと学校生活を繋げることで、自分の長所に気付かせる。 			
○特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の主体的な活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ○規則正しい生活習慣の醸成を行い、あいさつの意識づけや授業遅刻者を0(ゼロ)にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心にあいさつ運動を行う。 ・学校全体で場に応じた行動(服装・言葉遣い等)に努めさせる。 							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------